

〔派遣〕

派遣研究者 名古屋工業大学大学院 工学研究科機能工学専攻 助手 荒田 純平
研究集会名 2006 IEEE International Conference on Robotics and Automation (ICRA)

1062001

出張期間 平成18年5月14日 ～ 21日
開催場所 アメリカ合衆国 フロリダ州 オーランド市
発表論文 遠隔低侵襲手術システムを用いた日本-韓国間遠隔手術実験
(A remote surgery experiment between Japan-Korea using the minimally invasive surgical system)

概要

37万人の会員を世界150カ国に有するIEEE主催の国際会議であるICRAは、ロボット分野において世界最大規模の国際会議である。本年のICRAにおける採択率は39%（応募件数1756件）であり、ロボット研究における非常に高いレベルの国際会議として広く認知されている。会議は、5/15から5/19にかけて行われ、会議での発表に加え、会議初日と最終日に行われたワークショップにも参加するなど、積極的な会議参加を行うことができた。研究分野とする手術ロボット分野においては、本大会では関連研究も含めて4つのセッションが構成され、どのセッションでも会場が満員になるほど盛況であった。

研究発表は、セッション「Surgical Robot I」にて行い、多くの参加者から多くの質問を受け、大変有意義なものとなった。特に、今回発表を行った遠隔手術については、今後の手術ロボット開発におけるキラーアプリケーションとなるであろうとの議論がなされ、注目の高い分野である。本大会でも国境を越えた遠隔手術実験を実際に行い、報告を行った論文は唯一であったこともあり、大きな注目に集めた。

参加したワークショップ「MRI Compatible Robotics」は、これから大きな発展が見込まれる分野であり、世界中の研究者が会した本会議での情報交換は大変有用な機会であった。また、ワークショップ「Robotics based Medicine」は、世界中の著名な研究者が会し、研究発表とディスカッションが活発に交わされた。世界最先端の開発動向を知り、また実際の研究者から意見を聞くことができる貴重な機会であった。